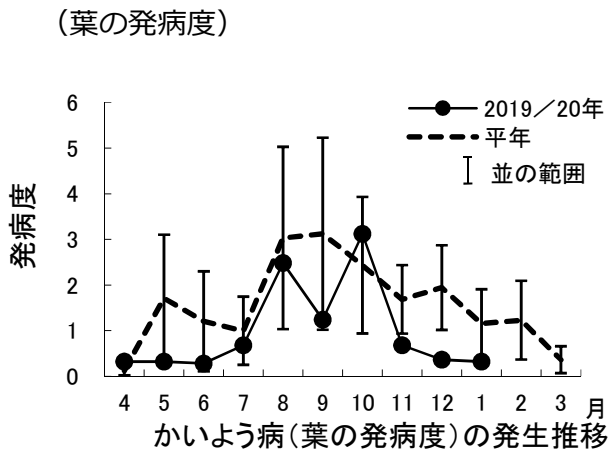
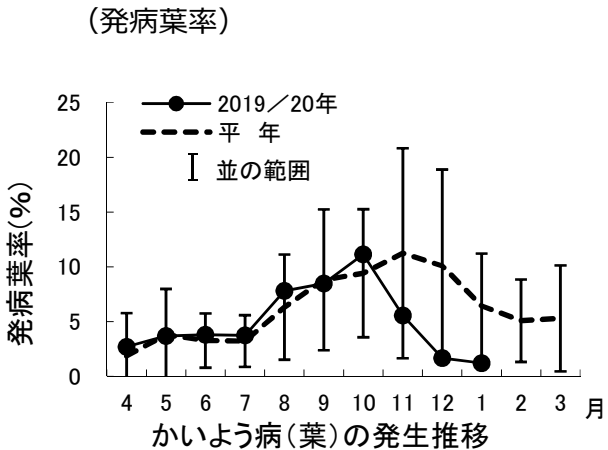
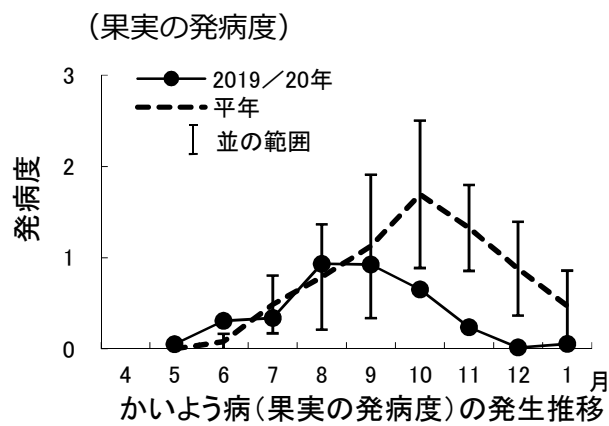
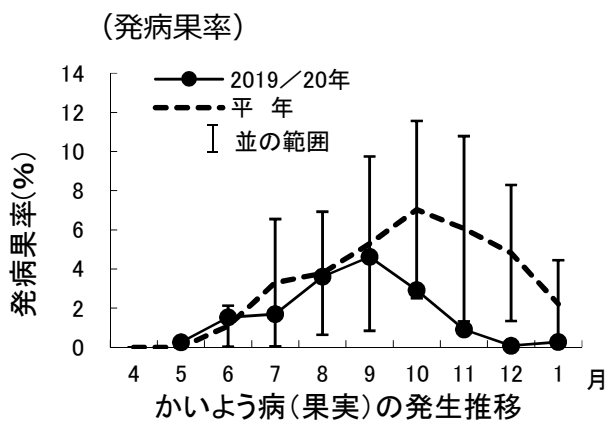


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
予報	2 月の発生量 (平年比)	並	
	1 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	1 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓)	



調査結果




防除のポイント

- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。



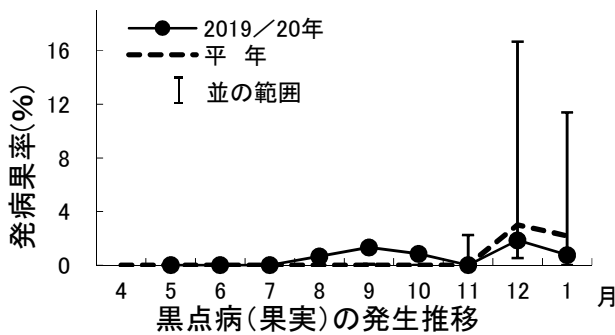
被害葉→

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
予報	2 月の発生量 (平年比)	並	
	1 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	1 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓)	

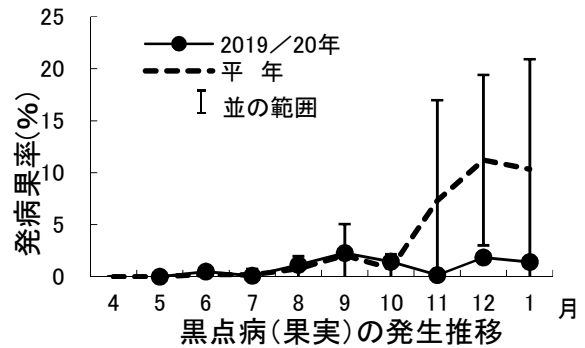
調査結果

(発病果率)

〈中央値〉

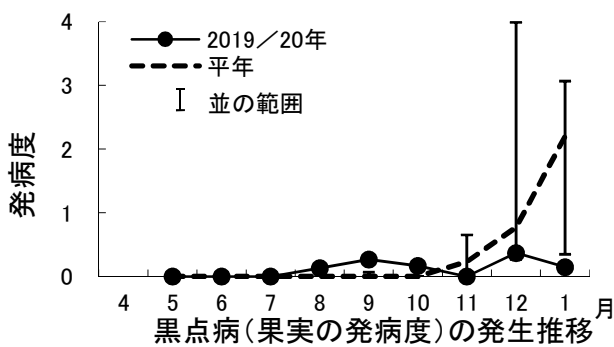


〈平均値〉

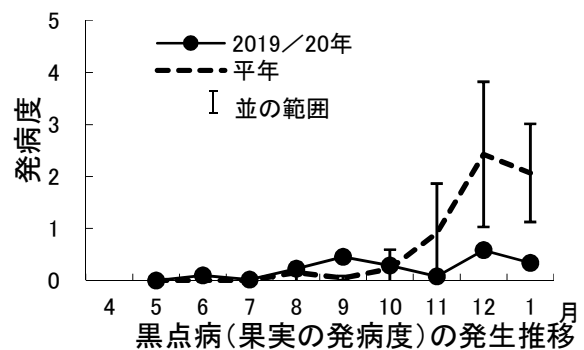


(果実の発病度)

〈中央値〉



〈平均値〉



防除のポイント

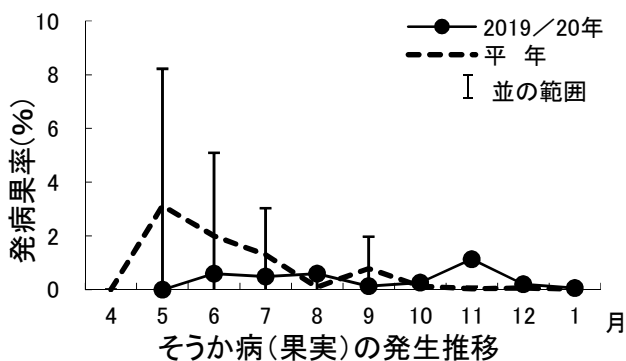
- ・周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
予報	2 月の発生量 (平年比)	並	
	1 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	1 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→)	

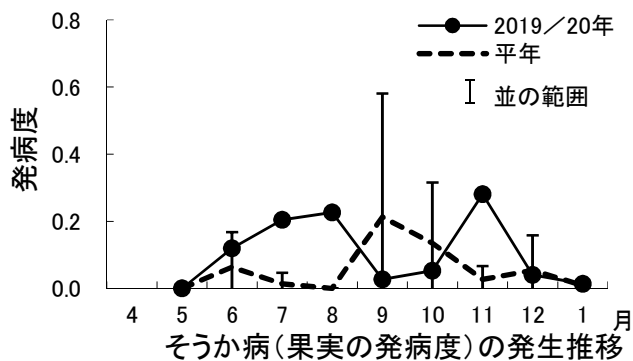


調査結果

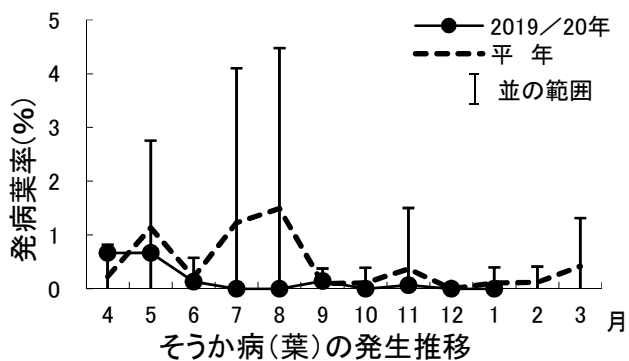
(発病果率)



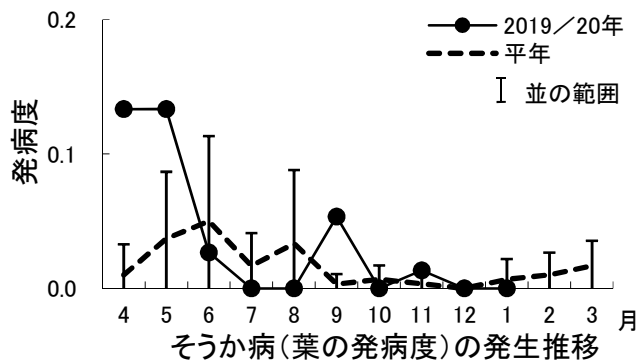
(果実の発病度)



(発病葉率)



(葉の発病度)



防除のポイント

- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

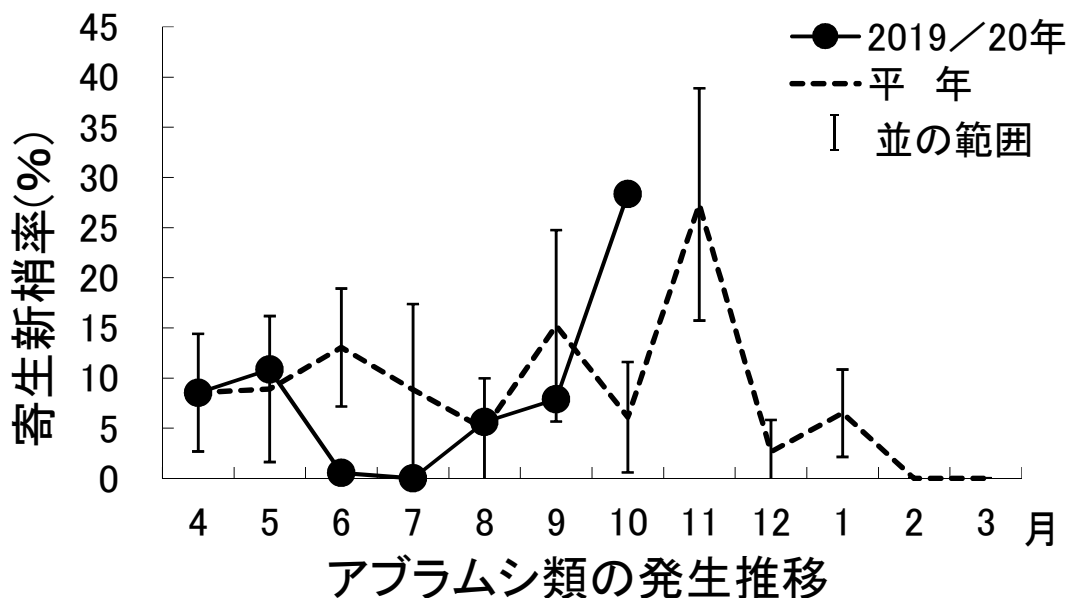


被害葉→

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
予報	2 月の発生量（平年比）	—	
	1 月からの増減傾向	—	
予報の根拠	1 月の発生量（平年比）	—	
	その他 (気象要因など)	—	



調査結果




- ・ 新梢数が基準に満たなかったため1月のデータなし

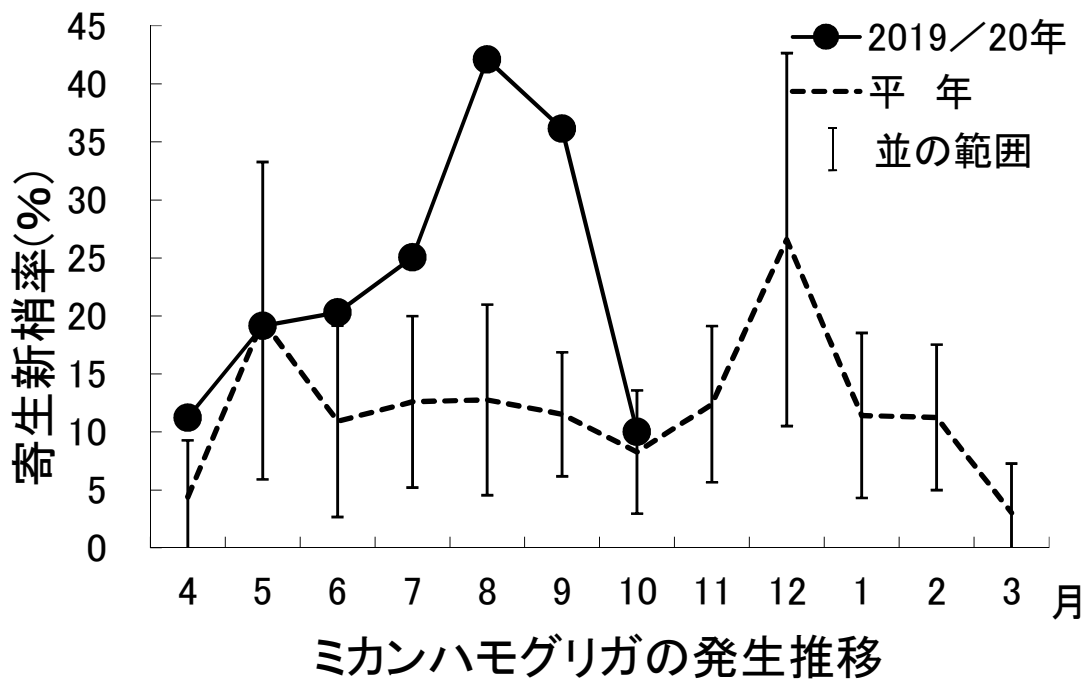
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	ミカンハモグリガ		
予報	2 月の発生量（平年比）	—	
	1 月からの増減傾向	—	
予報の根拠	1 月の発生量（平年比）	—	
	その他 (気象要因など)	—	


調査結果



・ 新梢数が基準に満たなかったため1月のデータなし

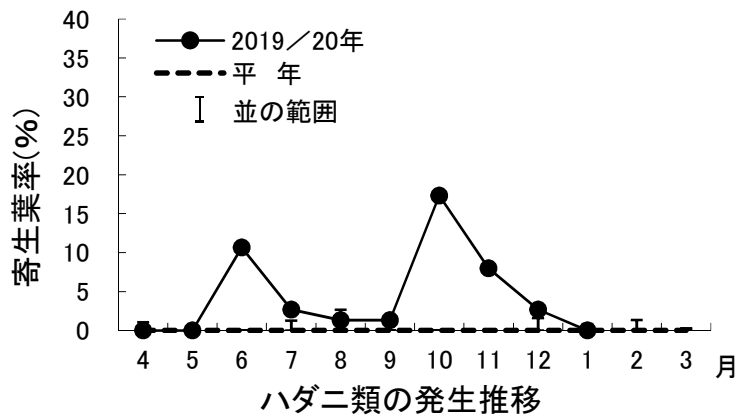
防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

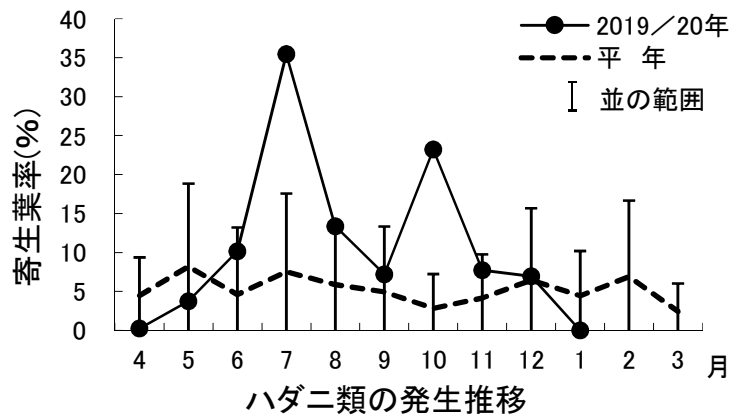
作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
予報	2 月の発生量（平年比）	並	
	1 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	1 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

〈中央値〉



〈平均値〉



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状